

十人頭 同断

一、壬子 甚助

半九郎

一、癸丑 覚右衛門

一、甲寅 勘左衛門

一、乙卯 吉四郎

山才許人記

一、上町 茂兵衛

嘉助

幸吉

喜右衛門

一、新町 茂兵衛

左兵衛

与吉

和右衛門

一、下町 伊七郎

安兵衛

十右衛門

一、横町 徳次郎

宗助

新兵衛

伝助

一、御蔵町御神燈之才許人 甚兵衛

彦次郎

(これ以降は昭和四年・一九二九まで書き継ぐ)

一、嘉永五年(一八五二) 五月

御中入 算用聞見習伊左衛門

一、同断 夜喰 飴屋徳次郎

一、同年、会所詰 算用聞見習伊左衛門

肝煎源衛門

組合頭万右衛門

十人頭甚助

同

同並 半九郎

一、嘉永六年 御中入 上野屋清六

一、同年 夜喰 宮島屋八太郎

(安政元年・一八五四)

嘉永七年 御中入 組合頭万右衛門

同 夜喰 合羽屋宗助(花押)

但、同年、万右衛門殿指支申二付、源衛門方ニ而御中入有之事、夜喰之

義も宗助方ニ指支申二付、与三市方ニ而夜喰相勤申候、

(安政二年・一八五五以降は省略。写真は全文を掲載)

③ 絵葉書「越中福野夜高祭絵葉書」

封筒、二つ折り解説紙、絵葉書(縦一四二ミリ、横九一ミリ)六枚。

個人蔵

個人蔵

うち一点は写っている提灯の文字により七津屋の行燈だとわかる。発行元の「UTSUNOMIYA」は金沢の老舗書店「うつのみや書店」とみられる。撮影担当の「ミヅキ写真館」は、かつて福野の新町に所在した（往藏久雄氏ご教示）。制作時期は、捺された高岡駅の記念スタンプの日付「昭和九年（一九三四）五月十九日」から、それ以前と判明する。二次利用自由。

〔絵葉書記入文字〕

ミヅキ写真館撮影

UTSUNOMIYA（宇都宮書店）

UNION POSTALE UNIVERSELLE（フランス語で

万国郵便連合）

〔封筒表書〕

越中福野 夜高祭絵葉書

〔記念スタンプ〕

高岡駅 昭和9・5・19

〔解説紙〕

越中福野町夜高行燈の解説

福野町。富山県東砺波郡にあり、砺波平野の中央に位置し、中越線、加越線の交叉点にして交通至便、人口五千余、木綿織を産す所謂福野縞之なり。

福野町は昭和六年より二百八十二年前、慶安二年に、野尻の郷士阿曾三右衛門が郡奉行に願出で翌年許可を得て創立したる市場町なり。爾来今日に至るまで毎月二と七の日に市行はる。

神明社の創立と五月大祭。福野町福野の氏神にして 天照皇大神 豊受皇大神を奉祀す。

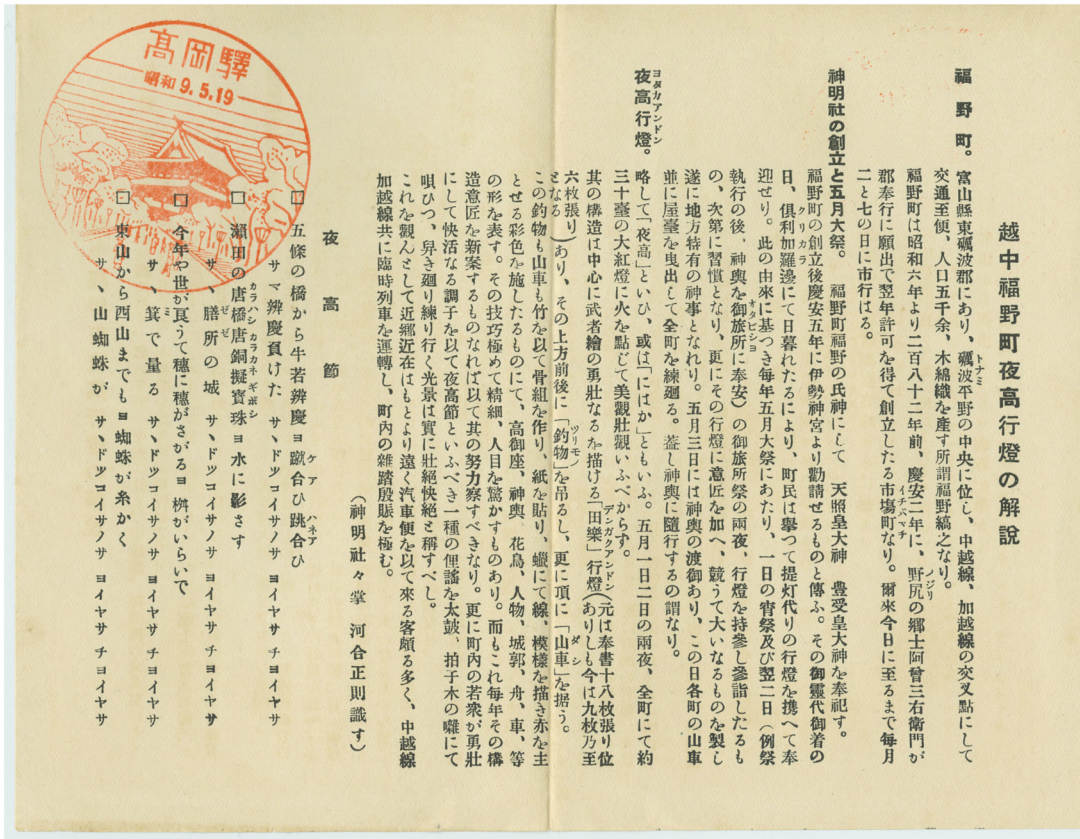
福野町の創立後慶安五年に伊勢神宮より勸請せるものと伝ふ。その御霊代御着の日、俱利伽羅辺にて日暮れたるにより、町民は拵つて提灯代りの行燈を携へて奉迎せり。此の由来に基づき毎年五月大祭にあたり、一日の宵祭及び翌二日「例祭執行の後、神輿を御旅所に奉安」の御旅所祭の両夜、行燈を持参し参詣したるもの、次第に習慣となり、更にその行燈に意匠を加へ競うて大いなるものを製し遂に地方特有の神事となれり。五月三日には神輿の渡御あり、この日各町の山車並に屋台を曳出して全町を練廻る。蓋し神輿に随行するの謂なり。

夜高行燈。略して「夜高」といひ、或は「にはか」ともいふ。五月一日二日の両夜、全町にて約三十台の大紅燈に火を点じて美観壯観いふべからず。

其の構造は中心に武者絵の勇壮なるを描ける「田楽」行燈（元は奉書十八枚張り位ありしも今は九枚乃至六枚張りとなる）あり、その上方後に「釣物」を吊るし、更に頂に「山車」を据う。

この釣物も山車も竹を以つて骨組を作り、紙を貼り、蠟にて線、模様を描き赤を主とせる彩色を施したるものにて、高御座、神輿、花鳥、人物、城郭、舟、車、等の形を表す。その技巧極めて精細、人目を驚かすものあり。而もこれ毎年その構造意匠を新案するものなれば以て其の努力を察すべきなり。更に町内の若衆が勇壮にして快活なる調子を以て夜高節といふべき一種の俚謡を太鼓、拍子木の囀にて唄ひつ、昇き廻り練り行く光景は実に壯絶快絶と称すべし。

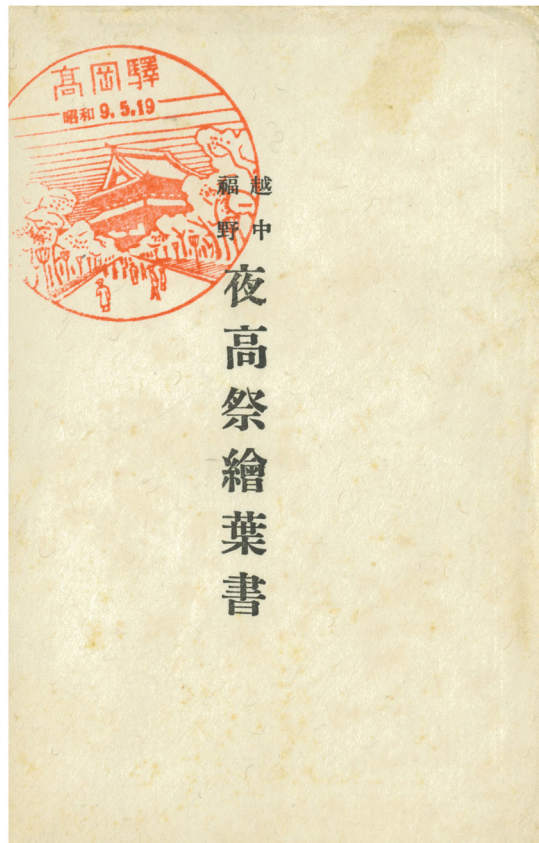
これを観んとして近郷近在はもとより遠く汽車便を以て来る客頗る多く、中越線加越線共に臨時列車を運転し、町内の雑踏股賑を極む。（神明社々掌 河合正則識す）



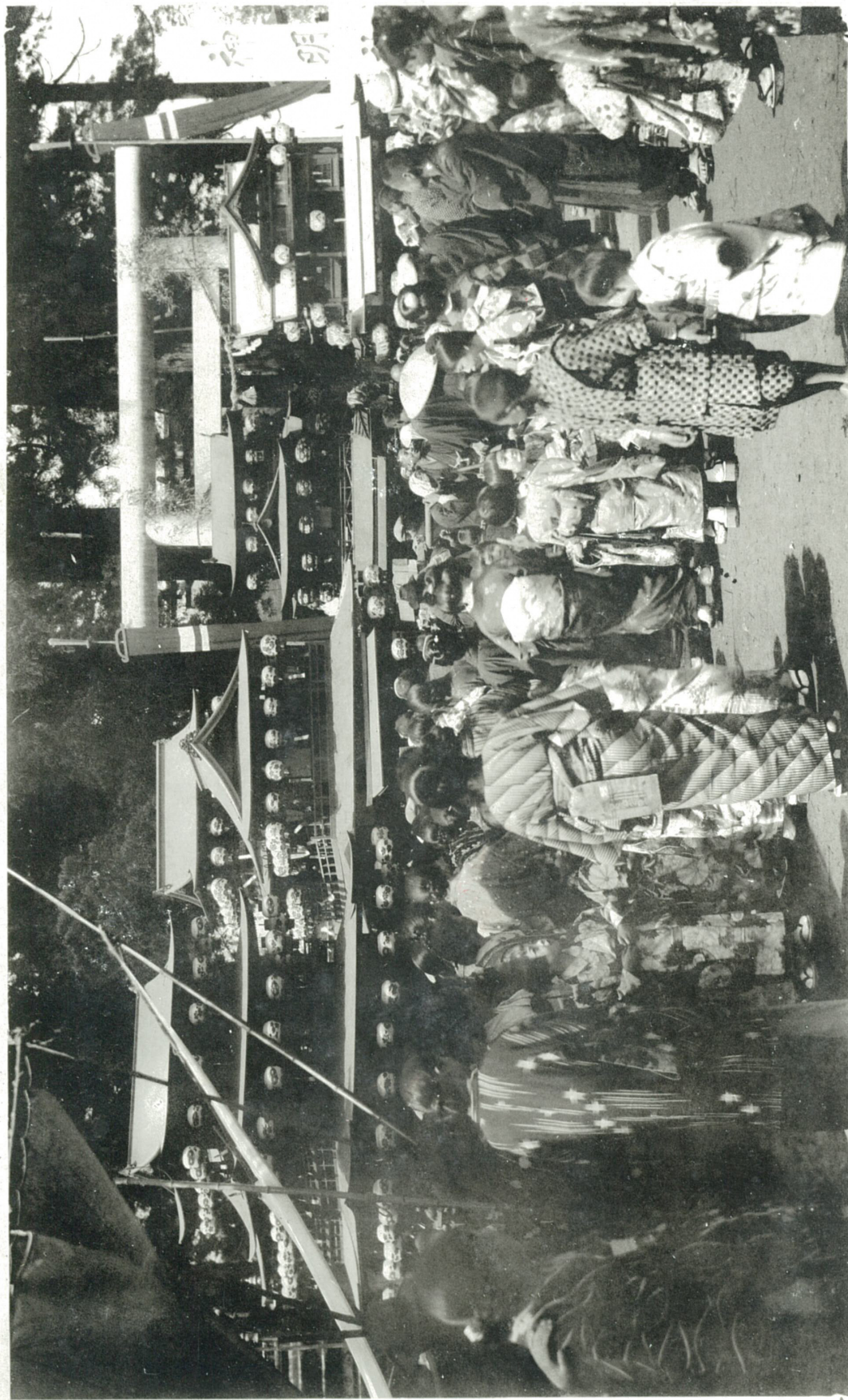
「越中福野夜高祭絵葉書」 越中福野町夜高行燈の解説



「越中福野夜高祭絵葉書」 裏面



「越中福野夜高祭絵葉書」 表面



(影撮館真寫キヅミ) 臺屋祭大月五社明町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」1 四町の屋台が福野神明社前で勢ぞろいした様子



(影撮館眞寫キヅミ)燈行高夜祭大月五社明神町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」2 上町のものと思われる日の出に鶴の大作燈



(影撮館眞寫キヅミ)燈行高夜祭大月五社明神町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」3 横町のものと思われる鼓太鼓の大作燈



(←新たな横町山蔵建設地)

右写真に写る建物と  
同じものが残っている。

右写真と同じ場所（横町通りの森田家前）の現在の様子（令和8年2月撮影）



(影撮館真寫キツミ)燈行高夜祭大月五社明神町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」4 上町のものと見られる高御座の代行燈



西方寺の石垣と境内林が  
右写真と一致する。

右写真と同じ場所（上町通りの西村家前）の現在の様子（令和8年2月撮影）



(影撮館真寫キツミ)燈行高夜祭大月五社明神町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」5 新町のものと見られる神輿の代行燈

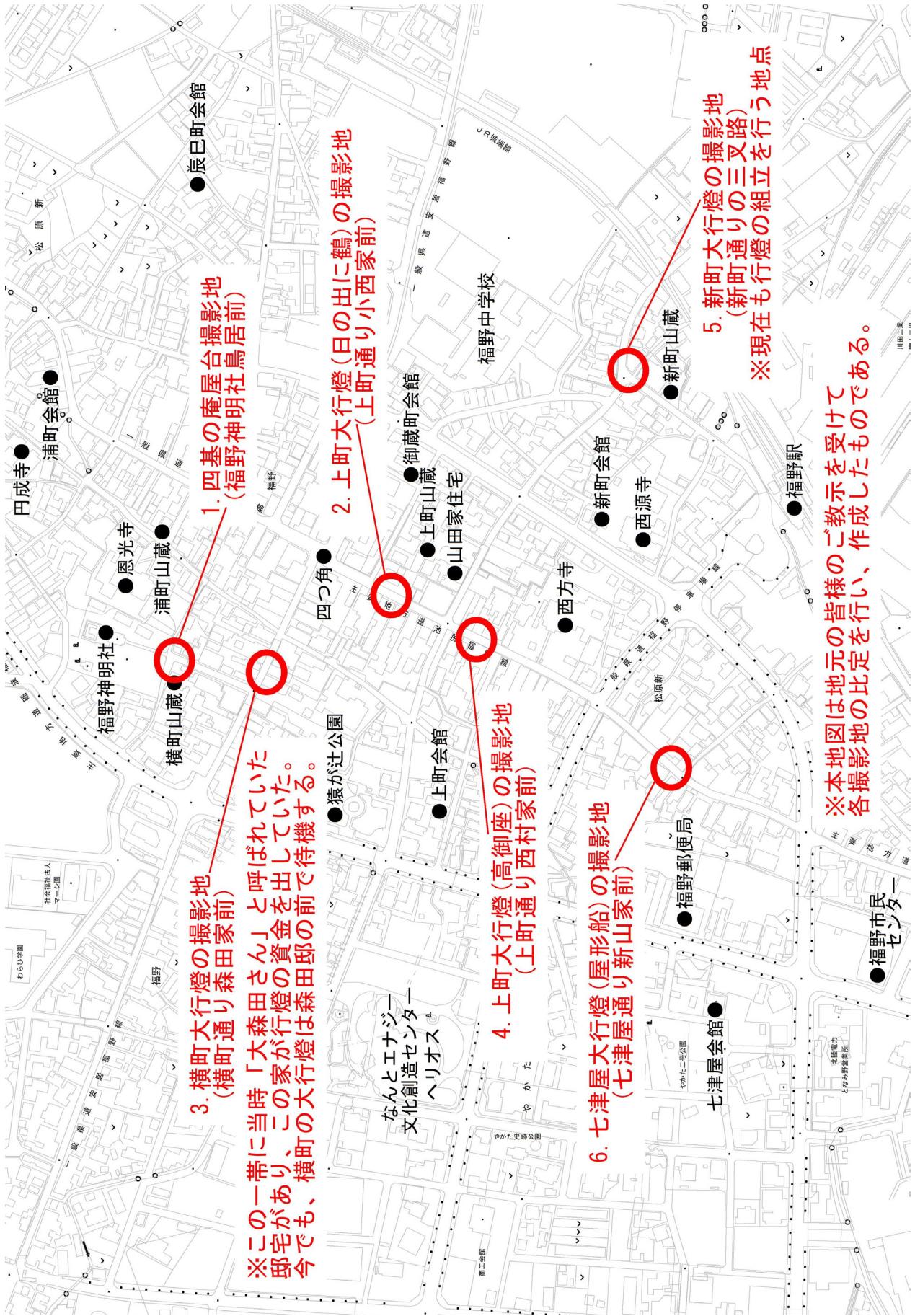


右写真と同じ場所（新町通りの新山家前）の現在の様子（令和8年2月撮影）



(影撮箱眞寫キヅミ)燈行高夜祭大月五社明神町野福縣山富

「越中福野夜高祭絵葉書」6 七津屋のものと見られる屋形船の代行燈



1. 四基の庵屋台撮影地  
(福野神明社鳥居前)

2. 上町大行燈(日の出に鶴)の撮影地  
(上町通り小西家前)

3. 横町大行燈の撮影地  
(横町通り森田家前)

この一帯に当時「大森田さん」と呼ばれていた  
※この家が行燈の資金を出していた。  
※邸宅があり、この家が行燈の資金を出していた。  
今でも、横町の大行燈は森田邸の前で待機する。

4. 上町大行燈(高御座)の撮影地  
(上町通り西村家前)

6. 七津屋大行燈(屋形船)の撮影地  
(七津屋通り新山家前)

5. 新町大行燈の撮影地  
(新町通りの三叉路)

※現在も行燈の組立を行う地点

※本地図は地元の皆様のご教示を受けて  
各撮影地の比定を行い、作成したものである。

「越中福野夜高祭絵葉書」所収写真の撮影位置図